

第1学年 組 音楽科 学習指導案

職・氏名 教諭・

1 日時・場所 平成 年 月 日 () 校時 (: ~ :) 第 音楽室

2 題材名 聴き深める喜び [B鑑賞：ア・イ]

3 目 標

- (1) 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史などに関心をもち、主体的に鑑賞する。 【音楽への関心・意欲・態度】
- (2) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴と情景や作曲者の思いを関連付けて理解し、楽曲の特徴を味わう。 【鑑賞の能力】

4 題材について

(1) 生徒について

本学級（男子19名、女子20名）は、1学期にヴィヴァルディ作曲「春」（第1楽章）を教材として、音楽を形づくっている要素に注目して楽曲を聴き、それらとソネットの関連について批評する活動にも取り組んできた。その結果、音楽の要素の変化について積極的に考え、自分の考えを言葉で伝えていこうという生徒も増加したが、自分の思いをまとめたり、言葉で表現したりすることを苦手とする生徒も少なくない。その原因として、「曲想を表す言葉が思い浮かばず、感じたことを上手く表現できない」また、「感想は言えるが、音楽を形づくっている要素の変化を総合的に捉えることはできない」などが考えられる。そのため、音楽の要素を限定して曲を聴いたり、曲想を表す言葉で説明する際の文型を提示したりするなどして言語活動の充実を図り、音楽を解釈したり価値を考えたりする学習に取り組んでいる。

(2) 題材について

本題材は、オーケストラの豊かな響きを味わうとともに、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりや、音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞することをねらいとしている。音楽を形づくっている要素の変化と情景や作曲者の思いとの関わりについて理解し、根拠をもって批評する活動を通して楽曲の特徴を鑑賞する活動をする。自分の考えを批評文に書いたり、友達の批評文を読んだりすることによって、楽曲に対する理解を深め、曲に込められた作曲者の思いを深く味わって聴くことにつながっていくものとする。

交響詩「わが祖国」は、スメタナの祖国であるチェコの歴史、伝説、風景が巧みに表現され、場面ごとのテーマと音楽の関わりが豊かに感じられる。また、独立しようとしていた祖国に対する作曲者の思いも明確で、文化や歴史の違いを超えて共感できる楽曲でもある。そこで、楽曲が生まれた時代の歴史的背景、作曲者の思いなどを理解した上で、それらとオーケストラの多彩な表現力が絡み合った作品であることを感じ取らせたいと考える。

(3) 指導について

音楽を形づくっている要素の変化によって生み出される表現を聴き取る活動を通して、様々な情景や感情の表現を意識しながら鑑賞する能力を育てたい。そのために、楽器の音色、旋律の動き、強弱の付け方、速度の変化、楽曲の構成にポイントを絞り、音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚・感受を重ね、段階的に学習を進めたい。また、人権・同和教育の視点から、音楽の特徴を分析する話し合い活動や、批評文を読み合う活動を通して、自分の考えや思いを伝え合ったり、友達の考えに共感したりしてコミュニケーションを図る中で、共感的人間関係を育むとともに、コミュニケーション技能を高めさせたい。

5 教材

スメタナ作曲 連作交響詩「我が祖国」からブルタバ

6 題材の評価規準

| | ア 音楽への関心・意欲・態度 | エ 鑑賞の能力 |
|---------|--|--|
| 題材の評価規準 | 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、音楽の特徴と作曲者の思いや歴史的背景との関連について理解し、根拠をもって批評し、交響詩のよさや美しさを味わって聴いている。 |

7 指導と評価の計画（全4時間）

| | ねらい・学習内容・学習活動 | 具体の評価規準・評価方法 | | 共通事項 |
|--------------|---|--|---------|----------------------------|
| | | ア 音楽への関心・意欲・態度 | エ 鑑賞の能力 | |
| 第一次 (2時間) | ☆ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、音楽の特徴を作曲者の祖国への思いや背景となる歴史と関連付けて鑑賞する。 | | | 音色 旋律 強弱 速度 構成 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲の構成をとらえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲全体を鑑賞し、全体像をとらえる。 ・ 楽曲を聴き、曲想の違いで大きくいくつの部分に分けられるか聴き取る。 ○ 楽曲について深く掘り下げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲名・作曲者・演奏形態・交響詩について学習する。 ・ チェコの歴史・自然について知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ オーケストラの豊かな響きに関心を持って聴く学習に、主体的に取り組もうとしている。(ワークシート) ○ 楽曲の作曲者や歴史的背景に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(観察、ワークシート) | | |

| | | | | |
|--------------|---|--|--|----------------------------|
| (本時その2) | <p>○ 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冒頭部を聴いてオーケストラを構成する楽器の編成について理解する。 | | <p>○ 音楽を形づくっている要素と曲想との関わりを感じ取って言葉で説明し、オーケストラの多彩な表現力を味わって聴いている。(ワークシート、発言の内容)</p> | |
| | <p>○ 楽曲の各部分と様々な情景や作曲者の思いとのつながりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な情景や作曲者の思いを表現している要素について、その特徴を考え、言葉で説明する。 ・ 各グループで話し合い、まとめた意見を発表する。 | | <p>○ 様々な情景や作曲者の思いを表現するための音楽を形づくっている要素を見つけ、それらの関わりを味わって聴いている。(ワークシート、発言の内容)</p> | 音色 旋律 強弱 速度 構成 |
| 第二次 (1時間) | <p>☆ 音楽の特徴と様々な情景や作曲者の思いと関連づけて解釈したり価値を考えたりしながら楽曲の特徴を味わう。</p> | | | |
| | <p>○ 楽曲の特徴と様々な情景や作曲者の思いの関係について批評文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素と曲想や情景との関わりを理解して、作曲者の思いを、根拠をもって批評する。 ・ 批評文を発表し、互いに感じ取ったことを伝え合い、共有する。 | | <p>○ 音楽を形づくっている要素と曲想の関わりについて根拠をもって批評し、楽曲に込められた作曲者の思いを味わって聴いている。(ワークシート)</p> | 音色 旋律 強弱 速度 構成 |

8 本時の指導

(1) 目標

- 様々な情景や作曲者の思いを表現するための音楽を形づくっている要素の特徴を考える。

(2) 本時の指導に当たって

前時に、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらが生み出す雰囲気を感じ取り、楽曲の構成について考えた。また、この曲が生まれた歴史的背景について学習してきた。本時は、楽曲の構成と曲想とを結びつけて、どのような情景や感情が表現されているか考えさせたい。また、そう考えた根拠を、音楽の要素の変化や働きなどの具体的な特徴から考えさせ、それらを言葉で説明したり、話し合っって友達の意見を聞いたりする活動を通して、理解を深めるとともに共感的人間関係を育ませたい。

(3) 展開

| 学習の流れ | 形態 | ○指導上の留意点 ◎評価(評価方法) ☆人権・同和教育の視点 |
|---|---|---|
| 1 前時の学習を振り返る。 ・ 楽曲の歴史的背景について。 2 本時の目標を明らかにする。 | 一 斉 | ○ 前時の感想を取り上げ、楽曲の構成について振り返る。 ○ 本時の目標を明らかにし、学習への意欲をもたせる。 |
| スメタナは、様々な情景や祖国への思いをどのように音楽で表現したか考えよう。 | | |
| 3 各場面にチェコの情景や作曲者の思いがどのように表現されているか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 情景や作曲者の思いと曲想の関わりについて考える。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 0 20px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 情景や作曲者の思いの表現を根拠づける、音楽を形づくっている要素の特徴を考える。 </div> <div style="text-align: center; margin: 0 0 20px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 各グループの発表を聞く。 </div> 4 本時を振り返りながら、教師の話聞く。 | 個人 グループ 一 斉 | ○ 前時の感想を基に、各グループに場面を振り分けて、考えさせる。 ○ 音楽を形づくっている要素の変化や働きに気付かせ、楽曲をより深く味わって聴かせるために、情景や作曲者の思いの表現と音楽の諸要素の関わりを言葉で説明させる。 ○ 音楽の要素の変化に込められた情景や作曲者の思いに気付かせるために、各グループで話し合わせる。 ☆ 話し合い活動を通して、互いに感じたことや考えたことについて意見を交換し、共感し合い、理解を深める中で、共感的人間関係を育むとともに、コミュニケーション技能を高める。 ◎ 情景や作曲者の思いと音楽を形づくっている要素との関係を言葉で説明し、楽曲に込められた作曲者の思いを味わっている。(ワークシート、観察) ○ 曲の流れに沿って各グループの発表を聞くことにより、楽曲全体の構成と歴史的背景の関わりについて考えさせる。 ○ 本時の授業を評価し、次時の課題を確認して意欲をもたせる。 |

9 授業評価の視点

(1) 授業構成員

グループ活動を通して、楽曲の構成と曲想とを結びつけて、音楽の特徴と情景や作曲者の思いを関連づけて聴き、楽曲の特徴を深く味わうことにつながる授業構成であったか。

(2) 授業実践力

音楽を形づくっている要素を基に、思考・判断し、鑑賞を深めるための言葉掛けは適切であったか。